

演奏に役立つ One Point Lesson

TUBA

チューバ

よい音をイメージしてロングトーンしよう!!

柳生和大 やぎゅう・かずひろ



- ◆出身 秋田県立秋田高校・秋田大学・東京藝術大学大学院
- ◆所属 日本フィルハーモニー交響楽団
- ◆趣味 整体通い、温泉
- ◆血液型 ?型
- ◆星座 しし座
- ◆読者にひとこと 自分の音を聴いてくれるもう一人の自分をつくらう!
- ◆手紙の送り先 BJ 氣付 gyutuba2011@yahoo.co.jp

こんにちは! 夏真っ最中に汗をかきながら猛練習ですね! 水分補給をしっかりとって体調管理もしっかりしましょうね。

さて今月はロングトーンを中心に勉強しましょう。ロングトーンは基本中の基本! と同時に、最も重要な練習のひとつです。これまで書いてきた「楽器の構え方」や「プレス」や「バズィング」は、全てこのロングトーンに繋がっているのでしっかり復習しましょうね。

ロングトーンでたまに見かけるのは、いきなり大きな音で無理に息を入れようとする人です。このように吹いてしまうと、唇に無理な負担がかかり音が硬くなり、パテやすくなります。運動する前の準備運動のように、体や唇が徐々に柔らかくなるように、負担のかからない音量でロングトーンをしましょう。僕自身も、このようなウォーミングアップを怠ってしまったときは、一日思ったように音が出なかった経験がありますので気をつけましょうね。

■プレスをする際の注意

音を出す前に、プレスに関していくつか注意点をあげておきます。

- 1:常にリラックスしてフル・プレスをとる
- 2:プレスを止めてから音を出さない
- 3:プレスから音色をイメージする
- 4:プレスを吐くときは徐々にお腹がへこむように

7月号でも書きましたが、フル・プレスをすることによって、勢いよく息が出るため唇がしっかり振動します。しかし急いではやくプレスを取ろうとすると、体が力んでしまいプレスが浅くなってしまいます。ですので、まずは4拍かけてゆっくりたっぷりプレスをしてみてください。このとき、音を出す前に息を止めると胸の辺りがグッと力が入った状態になってしまうので、間を置かず息を送り込んでください。その後3拍、2拍とプレ

スを短くしてよいですが、その都度、音色をイメージしながら慌てずフル・プレスを意識するようにしましょう。

また息を吐くときにお腹がすぐにへこんだり、急激におなかをへこませようとすると、上半身が力んだ状態になったり、横隔膜が早く元の位置に上昇しようとして必要以上に息が漏れてしまい、支えのない息になってしまうので、パンパンの風船が少しずつ小さくなっていくようなイメージで、お腹も徐々にへこませていくようにしましょう。

また息がなくなる直前のギュと搾り出すような息も、上半身が力んだ状態なので楽器を吹く際は使わない方がよいです。

■シラブル(発音)について

音色豊かに吹くコツとして、喉や口の中の空間が保たれていることが大事です。そこで大切なのがシラブルです。シラブルとは発音のことです。例えば「TA(タ)」、「TU(トゥ)」、「TO(ト)」などです。この3つの中で、どれが一番口の中の容積が保たれている感じがしますか? 恐らく「TO」ではないでしょうか。「TOOH(トーウ)」が一番舌の位置が下がり、より空間が広がると思います。音が【図2】のようになってしまう場合は口の中が狭すぎる、またはアタックが強すぎることが多いので、【図2】の「TooH」ではなく、「tOOH」のように小文字のtのように軽く発音して、大文字の「O」のようにたっぷり息を送り込む【図1】のような形をイメージしましょう。

また舌に頼らず息の勢いで唇を振動させることも大事なので、出だしをノー・タンギン

グできれいに発音できるように練習をしてみましょう。

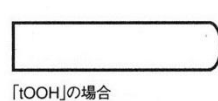
【譜例】は僕がいつも練習しているロングトーンのメニューで、レガート・タンギングを組み合わせています。こうすることによって口の中の空間を保つ感覚を養い、アパチュアの大きさを一定に保ち、アンブシュアが力みすぎたり緩みすぎのを防ぎます。レガート・タンギングの際は音がまっすぐ繋がります。ロングトーンのような息を意識しましょう。

■常によい音をイメージして

何度も書いていますが、自分がどんな音を出したいかを考えることはとても重要です。頭の中に出したい音色がないと、息のスピードが速すぎたり、口の中を空けすぎても気づかない可能性が高くなり、よい音は鳴りません。今出ている音がよい音かどうかを判断して調節しなければなりません。ですから必ずよい音をイメージしてから演奏しましょう。

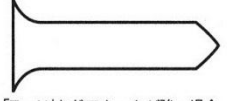
声で歌ってしっかり音程をとる練習や、音をイメージしながら息だけで「tOOH」の音型ができていないか確認してから楽器を吹くものの効果的です。しっかりと息を使い、きれいな発音でロングトーンをすることは、タンギングの練習にも繋がってくるのでよく音を聴いて集中して練習しましょうね!

【図1】よい例



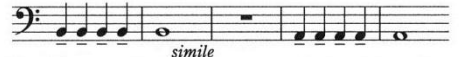
「tOOH」の場合

【図2】悪い例



「TooH」などアタックが強い場合

【譜例】



ここで演奏会のお知らせです。東京芸術大学と国立音楽大学を卒業した若手奏者で金管十重奏を行ないます! また同じコーナーで執筆しているトロンボーン黒金氏など京オケで活躍したり、現在海外留学をして活躍している方々が出演しますので、興味のある方はぜひ!

Brass Ensemble ZERO~Second Concert~

8月17日(水) 19:00開演(18:30開演) 場所:日本福音ルーテル東京教会(新大久保駅)

料金:2000円(全席自由) プログラム:王宮の花火の音楽(ヘンデル)、ブルックナー・エチュード、他 チケット取り扱い brass.ensemble.zero@gmail.com 楽器専門店ダク ☎03-3361-2211